



初参加の踊りは、うれしはずかし

## 踊りの輪、ふれあいの輪

町産業祭に5,000人

第五回町産業祭が十一月十日阿知須駅通りを中心に開催されました。

この日は小雨がときどき降る寒い一日でしたが、朝早くから町内、近郷の人たち約五千人(商工会発表)の人数で賑わいました。

駅前広場と駅通りは「あじす市」「水産まつり」の催し場。テントでの出店や水産加工品の販売などが人気を集めていました。

砂郷保育園児による鼓隊パレードには多くの見物客が集まり「小さいのに、上手じゃのう」「かわいいねえ」という声も聞かれました。鼓隊の後ろについて歩いたり、写真を撮ったりする人もいました。駅通り交差点そばでは町内の音楽グループ、ブルーエンゼルが器楽を演奏。大勢の人たちが立ち止まって聴き、演奏が終わるたびに盛んに拍手を送っていました。

一番人気があったのが「民踊」。駅前広場で民踊愛好会や商工会員、町職員ら約五十人が踊りの輪をつくりました。この中には「恥かしいのう」と言いながら踊る人や仮装の人などがいて、見物客から「がんばれ!」などの声飛び、なごやかな「ふれあいの輪」となりました。

また、農協本部で開かれた農業まつりも大賑わい。各コーナーには行列ができ、カラオケ、舞踊大会も会場が満員になるほどの賑わいでした。

# 「縁の下の力持ち」にご協力を

## 地域防災の担い手 消防団

消防団は  
現代の「町火消」

「火事とケンカは江戸の華」  
こんな迷文が残るほど多かったのが江戸の火事。ひとたび火事が起こると、いろいろな人々が消火のために駆けつけましたが、その中でも活躍をしたのが、「町火消」です。大江戸八百八町に点在していたこの町火消は、「火事だ」の知らせに町へ飛びだし、火事場へと走りまわりました。

事故では、消防団の活躍が大きな力となりました。災害が複雑多様化し、大規模になっている今日、消防団の活躍に、より大きな期待がかかっているといえよう。現在、阿知須町の消防団は河村豊団長以下六十八人。第一、第二、第三分団に分かれて、消火・防災活動に励んでおられます。

町火消から二百六十年あまりたった現代では、「消防団」がその役割を果たしています。

### 地域に根ざした

#### 消防団の活躍

消防団は、町や村の住民の生命、身体や財産を守る重要な役割を担っています。今では消防署が各市町村にできていますが、地域社会で消防団の果たす役割は以前にも増して重要です。消防署のない地域ではなおさらのことです。消防団が町や村の災害活動をすべて引き受けているからです。

今年の夏に起こった長野県  
の地すべり災害や日航機墜落

### 団員不足は 大きな痛み

しかしながら消防団にも「問題」がないわけではありません。団員のなり手が年々少なくなっていることです。これはサラリーマンが増えたことが大きな原因のひとつではないかといわれています。そのため、地域活動のための時間が減ったこと、団員の高齢化が進んでいるにもかかわらず若い人たちが敬遠されることなど、そこに住む人たちにとって放っておけない問題です。阿知須町の場合、団員の平均年齢は四十五歳です。住民のあいだでは、「自分のことで精一杯」「めんどうだから」という理由で団員にならない人が多いようです。

「自分たちの住む所は自分たちで守る」という意識が薄らいだ結果といえますが、「自分にも何かできるはずだ」という気持ちをもって、積極的に地域活動に参加したいものです。

### 「原動力」は 郷土愛

消防団員は二つの顔を持っています。ふだんは魚屋さんや八百屋さんが、非常の場合には消防団員として活躍するのです。郷土愛の精

神が、イザ、というときは本業を投げすててまで献身的な活動をする「原動力」となっているのです。

江戸時代から育て伝えられてきた郷土愛の精神。これから「縁の下の力持ち」として活躍する消防団に、できる限りの協力をしていきましよう。

阿知須町でも昭和五十九年十月に、家庭における火災予防の普及徹底と防火・防災思想の向上を図り併せて婦人の火災科学教育に寄与することを目的とした阿知須町婦人防火クラブができています。先日の町産業祭でも、風船などを配り防火、防災思想の普及に努めました。



### 12月1日に消防 訓練でサイレン

全国火災予防運動期間中の十二月一日(日)午前六時半頃にサイレンを鳴らします。これは、町消防団の訓練のために行われるもので、消防車も出動しますが、火事とお間違えのないよう。

当日は恵比須の村田鍼灸院横の防火水槽、東区の村田博士宅前の防火用井戸の周辺で訓練を行います。このため各分団から消防車がサイレンを鳴らして現場へ集合し、無線なども使用しますので、近所の皆さんにはご迷惑をおかけするかと思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 暖かさが恋しい季節です

火の取り扱いには十分注意を

### 〈火の用心 7つのポイント〉

- 1 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
- 2 子供には、マッチやライターで遊ばせない
- 3 風の強いときは、たき火をしない
- 4 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない
- 5 家のまわりに燃えやすいものを置かない
- 6 ふろの空だきをしない
- 7 ストープには、燃えやすいものを近づけない



# 各課からのお知らせ

役 場 ☎ 4111  
教育委員会 ☎ 2022

## 住民課

有線 2132(福祉)  
2135(戸籍)

老齢・障害福祉年金

書き替えた証書を  
受け取られましたか

老齢・障害福祉年金の十二

月期分(八月十一月)は十一月十日から支払いをしています。  
十二月は郵便局の窓口が混雑しますので早目にお受け取りください。

なお、金額の書き替えが済んだ年金証書をまだ受け取っておられない人は印鑑を持って住民課までおいでください。



## 税務課

有線 2153

家屋の解体は届け出を

家屋を解体されたり、一部を取りこわされたところは、届け出てください。

届け出のあったお宅には町税務課員が現場を確認して固定資産台帳を整理することになっていきます。

もし、届け出がなく、職員がその状態をまだ調査に行っていないところがあれば、十二月二十日までに税務課固定資産税係へお知らせください。年末までに解体を予定されている人も同じです。

## 水道課

有線 2141

安心して飲める水道水

水道加入のおすすめ

水道課では最近、希望者の依頼により(有料)井戸水の検査を数件、保健所へ頼みました。

その結果、ほとんどの井戸水が飲用に適さない水でした。その多くは、何十年、何世代にもわたって使っている井戸水の上りでした。

飲用に適さない主な原因としては大腸菌群が検出される、一般細菌が基準値より多い、アルカリ性・酸性値が基準範囲内に納まっていないなどがあげられるようです。

これは、私たちの生活文化の向上により洗剤、農薬などを大量に使うようになり、その成分を含んだ表流水が完全に浄化しきれないことや、汚染源が近くにあることが考えられます。

飲用に適さない水は、すぐそれが原因となって病気を引き起こすことはないかもしれませんが、しかし、長期間飲用することによって、いろいろな物質が体に蓄積されたり、病気を引き起こす一つの誘因となる可能性があります。

水道の水は、いつでも飲用に適するように、常に科学的な衛生管理がされています。いつでも安心して飲める水道水——水道への加入をおすすめします。

## 阿知須町営バス運行時刻表

上 り 下 り

(ゴルフ場—農協野口支所—役場—砂郷保育園)

(砂郷保育園—役場—農協野口支所—ゴルフ場)

停留所	発車時刻		
ゴルフ場	8:35	12:05	16:50
万年池入口	8:36	12:06	16:51
温泉前	8:37	12:07	16:52
農協野口支所	8:40	12:10	16:55
井関橋	8:41	12:11	16:56
赤迫橋	8:42	12:12	16:57
浜表	8:43	12:13	16:58
役場	8:46	12:16	17:01
阿知須駅前	8:48	12:18	17:03
砂郷保育園	8:50着	12:20着	17:05着
		土曜日のみ運行	土曜日は運休

停留所	発車時刻		
砂郷保育園	8:15	11:45	16:30
阿知須駅前	8:17	11:47	16:32
役場	8:19	11:49	16:34
浜表	8:22	11:52	16:37
赤迫橋	8:23	11:53	16:38
井関橋	8:24	11:54	16:39
農協野口支所	8:25	11:55	16:40
温泉前	8:28	11:58	16:43
万年池入口	8:29	11:59	16:44
ゴルフ場	8:30着	12:00着	16:45着
		土曜日のみ運行	土曜日は運休

町営バスのご利用を  
町営バスの運行開始から一年七か月が過ぎました。  
この間、利用客は少しずつ増加しているようですが、営業の収支は苦しいところです。

住民の交通の便を確保するのが目的の運行ではありませんが、「オラたちのバスだ」というご理解のうえ一人でも多くご利用いただきますようお願いいたします。時刻表は左表のとおり。

運賃は最低百円、いちばん長い距離で二百二十円です。利用回数が多い人は、回数券定期券をお求めになると大変お得になります。

※ 日曜日、祝日、振替え休日、年末(12月29・30・31日)年始(1月1・2・3日)は全便運休。

# おしらせ



## 豊かな人間関係をつくろう

十二月四日から「人権週間」

山口地方事務局と山口県人権擁護委員連合会では、人権の共存「互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくろう」を重点目標に掲げ、次のテーマに取り組み人権問題の解消に努力しています。

- ① 部落差別をなくしよう
- ② 婦人の地位を高めよう
- ③ 障害者の完全参加と平等を

## 中小企業へ年末資金を融資

国民金融公庫では、中小企業へ年末資金(商品仕入、ボーナス支払いなど)の融資を行っています。

普通貸付 △融資額 二千五百万円以内 △貸付利率 年七・〇％  
経営改善貸付 △融資額 四百万円以内 △貸付利率 年六・八％  
くわしいことや申し込みは国民金融公庫山口支店(電話 山口②三六六〇番)または町商工会(電話二二一九番)まで。

## 親子もちつき大会

「秋吉台少年自然の家」で

山口県秋吉台少年自然の家では「親子もちつき大会」を次のとおり開きます。

- ▽期日 十二月十四日(土)～十五日(日)の二泊二日
- ▽会場 県秋吉台少年自然の家(〒七五四一〇三 美祿郡美東町大字赤長谷平、電話美東町②〇五八一番)
- ▽対象 小学校一年生から中学校三年生までの児童・生徒とその保護者が原則
- ▽参加費 一人千八百円
- ▽申込方法 往復はがきに住所、氏名、性別、学校名、学年、同伴の保護者名、電話番号を書き自然の家まで送付してください。
- ▽申込期間 十二月一日～十日

あなたが選ぶ中国地方の味覚

郵政省では「中国地方の味覚五十選」を募集中です。はがきにあなたが選んだ中国地方の味覚一点と、その県名を書いて次の要領で送ってください。

- ◇あて先 ふるさとの味覚五十選係(〒七三〇、広島中央郵便局私書五十号)
- ◇応募期間 十一月三十日まで
- ◇賞品 応募者全員の中から抽選で、旅行券・サインペンなどが当ります。

て豊かな人間関係をつくることにとめましょう。

## 障害をもつ人たちの「社会活動参加」への理解を

十二月九日から十五日までは身体障害者福祉週間です。

これは国民の一人ひとりが身体に障害をもつ人を正しく理解しその直面しているさまざまなハンディキャップをとり除くために積極的に援助の手を差しのべるとともに、身体障害者の各種の社会活動への参加を可能とする、より豊かな社会づくりをめざさうというものです。



あった人に対する顕彰(自立更生者、更生援護功労者)も行ないます。

## 老人性痴呆疾患などの相談は山口保健所へ

山口保健所では老人性痴呆疾患などの相談・指導を次のとおり実施しています。

- 12月4日 妊婦衛生教育(役、前九時半)
- 10日 健康相談(役、前九時半) 育児相談(役、後一時半)
- 12日 一歳六か月児健診(公、後一時)

## ◆催しもの◆

- ▽相談日 毎月第三木曜日 午後一時～三時
- ▽会場 山口保健所(山口市葵二丁目五十六九、電話山口②五一一一)
- ▽内容 精神科医師による相談の受け付けと指導
- ▽その他 希望者はあらかじめ電話で連絡のこと

## 不正受給はいけません 雇用保険の正しい活用を

11月は「雇用保険不正受給防止啓発月間」です。雇用保険の失業給付金はみなさんが失業されたときに、失業中の生活を心配しないで新しい仕事探しに専心できるようにするために支給されます。もちろん、1日でも早く再就職しようとする強い意志といつでも就職できる能力があり、現在仕事探しをしている人に限られます。

ところがこのような雇用保険制度の趣旨に反して、就職や内職・アルバイトなどをしていながらその事実を届け出ないなどの方法で失業給付金を不正に受ける人があつとを絶ちません。「雇用保険は自分で納めたもの。返ってきて当たり前」と思っておられる人は大きな間違いです。支給額のほとんどは他の被保険者や事業主の人たちが納めた保険料と税金です。



労働省 山口県 山口公共職業安定所